

みちしるベチェックリスト

評価対象道路名:		○ その通り △ やや該当 ー なし
区間:	～ 約 km	
評価年月日:	評価者:	

■プラス要素		○	△	ー
1	車道に十分な幅(自転車が出抜車を追抜せる)の走行空間がある	10	5	0
2	クルマの走行方向と同じ一方通行規制がされている	10	5	0
3	道路の左右に走行空間が設置されている	8	4	0
4	自転車走行空間をカラー舗装あるいは白線などで区分している	6	3	0
5	マークや文字標示で自転車走行が明示されている	6	3	0
6	バスレーンとの安全な共用が行われている	6	3	0
7	交差点内を直進できる自転車横断帯がある	6	3	0
8	交差点は車両用信号に従って直進できる(歩道部に横断帯がない)	6	3	0
9	左折の際にクルマに巻き込まれないよう配慮されている	6	3	0
10	交差点の信号待ち時の待機場所が確保されている	6	3	0
11	自転車でもわかりやすい道路交通標識がある	6	3	0
12	夕暮れや夜間でも自転車とクルマ、歩行者が互いに視認しやすい	6	3	0
13	脇からの自動車、自転車、人の出入りの安全確認がしやすい	6	3	0
14	車道左端に駐車車両がない(取締が行われ、荷さばき駐車も少ない)または走行に邪魔にならない駐停車スペースがある	6	3	0
15	トンネルや橋に自転車走行スペースがある	6	3	0
	小計	A	B	

■マイナス要素		○	△	ー
1	自転車通行空間が歩道上にある	5	2.5	0
2	多くの自転車利用者が歩道を走っている	3	1.5	0
3	歩行者用信号が自転車信号を兼ねている	3	1.5	0
4	車道の自転車走行空間が交差点・バス停などで歩道に誘導されている	3	1.5	0
5	自転車走行空間が相互通行になっている	3	1.5	0
6	路上駐車で車道左端を安全に走れない	5	2.5	0
7	車道の自転車を危険にさらすクルマのドライバーが多い	4	2	0
8	歩道との境界に柵があり、いざという時に逃げられない	4	2	0
9	車道左端の勾配が大きく、ハンドルをとられやすい	3	1.5	0
10	自転車用走行空間と車道との境界を柵などで区切ってある	3	1.5	0
11	自転車用走行空間と車道との境界を縁石で区切ってある	2	1	0
12	走行部分に排水溝などとの継ぎ目がある	3	1.5	0
13	車道を逆走する自転車が多い(取り締まり・警告が行われていない)	4	2	0
14	路面が荒れている、あるいは磨き石や鏡面仕上げで滑りやすい	2	1	0
15	クルマの左折専用レーンがあり、直進する自転車にとって危険	3	1.5	0
	小計	C	D	

計算式: (A+B)-(C+D)÷10= (四捨五入) 評価点:

自転車活用推進研究会